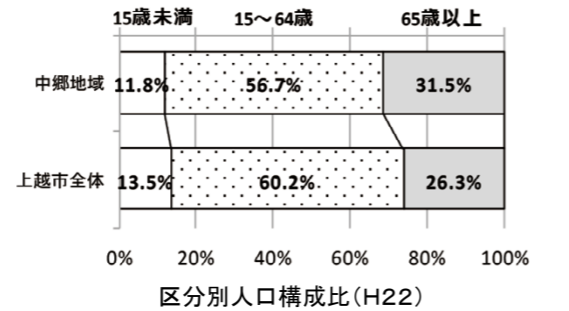


3 中郷地域

1) 地域の概要

《位置》
 ●中郷地域は、上越市の南部、妙高市（旧新井市）の南側に位置し、一級河川片貝川、渋江川沿川を中心に集落が形成された地域です。
 《都市計画上の位置づけ》
 ●平成10年4月に新井都市計画区域として当初編入指定され、平成22年3月に新井都市計画区域と妙高高原都市計画区域が統合し、現在の妙高都市計画区域（非線引き都市計画区域※）が指定されました。現在も地域の一部が妙高都市計画区域に含まれ、西側の山岳地は都市計画区域外になっています。

※非線引き都市計画区域：市街化区域と市街化調整区域の区域区分を行わない都市計画区域



2) 地域の現状と課題

- 行政、商業、医療などの生活サービスが受けられる安心して暮らせるまちを維持・形成するための拠点の形成や、地域の特性に配慮した適正な土地利用を図ることにより、暮らし続けられる生活環境の維持に取り組む必要があります。
- 本地域では、土砂災害の危険がある区域が存在することから、安全・安心なまちづくりに取り組む必要があります。
- 自然資源や研修交流施設、泉縄文公園、ゴルフ場、レジャー施設などの観光資源をいかして、市内外との交流・連携の充実に取り組む必要があります。

3) 本地域が担う役割

『妙高山を背景に豊かな自然と共生する集落の暮らしが続けられる地域』や、『産業、観光資源などをいかした交流・連携を図る地域』としての役割を担います。

4) 地域づくりの方針

- 中郷区の中心的エリアにおける行政機能や商業、医療などの日常生活に欠かせない機能を維持するとともに、生活環境や自然環境などの維持・確保を進め、将来にわたって暮らし続けられる地域づくりを目指します。
- 河川の適正な維持管理、土砂災害防止や被害軽減に向けた取組、自主防災組織の支援などの防災・減災対策に取り組み、安全・安心な暮らしを支える環境の維持・確保を目指します。
- 研修交流施設、泉縄文公園、ゴルフ場、レジャー施設などの活用により、市内外との交流・連携を支援します。また、上信越自動車道の4車線化の促進に取り組むとともに、幹線道路や生活道路の適正な維持管理及び整備などに取り組みます。

1 地域資源

- 本地域には、妙高山を背景とする豊かな自然環境が広がっています。
- 二本木駅西側には1920年に操業を開始した大規模な工場が立地し、医薬品原料など特色ある製品を直江津港から海外に向けて輸出しており、地域において欠かせない雇用の場となっています。
- 本地域には、コンサートなどが楽しめる広々としたホールや研修室、和室、創作室、学習室、陶芸工房などの研修交流施設を備えるはーとびあ中郷があります。
- 本地域には、縄文時代の遺跡に多く見られる同心円状の空間をイメージして造られている泉縄文公園があります。また、恵まれた自然環境をいかしたゴルフ場、レジャー施設など集客性のある施設があります。



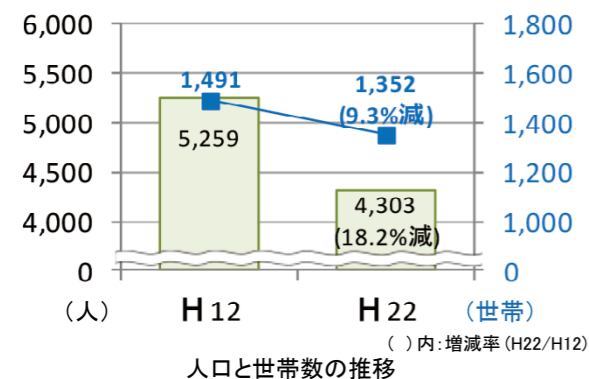
松ヶ峯周辺の桜と妙高山



泉縄文公園

2 人口・世帯数

- 平成12年と比較し、平成22年時点では人口、世帯数ともに減少傾向にあります。
- 平成22年時点では、高齢化率は市の平均よりも高く、15歳未満の人口比率は市の平均よりも低い状況になっています。



1 めりはりのある土地利用の推進

暮らしの維持 ●本地域内にある居住地、工業地、農地、観光・レジャー施設、森林などの現在の配置を踏まえつつ、暮らしやすい住環境を維持するため、関係分野と連携しながら、適正な土地利用を目指します。
 ●集落機能の維持を図るため、様々な施策と連携しながら、一定規模以上の開発の規制誘導や生活基盤の維持に取り組みます。

農地自然 ●農林分野の施策に基づき、農業生産活動が持続的に行われるよう、農地の保全を図るとともに、美しい自然環境が後世に引き継がれるよう、豊かな森林環境の保全を図ります。

交流・連携 ●はーとびあ中郷などの研修交流施設や泉縄文公園、ゴルフ場、レジャー施設などの観光資源などの活用により、市内外との交流・連携を都市計画の面から支援します。



はーとびあ中郷

防災 ●安全・安心な暮らしを確保するため、行政と地域住民が連携しながら、土砂災害、洪水、なだれなどに対する防災面を考慮して、森林の保全や土地利用の規制・誘導を検討します。

連携 ●本地域の一部が妙高都市計画区域に含まれることから、県が定める広域都市計画マスタープランを踏まえ、妙高市と連携を図りながら土地利用を進めます。

2 拠点の形成 中郷区の中心的エリア

※中心的エリア：総合事務所周辺

- 中郷区の中心的エリアにおいては、日常生活を支える拠点の形成や日常生活に欠かせない機能の維持・集積を図るとともに、地区内の集落や地区外からの交通アクセスを確保し、交流や連携が図られる拠点を目指します。
- 将来にわたって暮らし続けられるよう、各拠点や妙高市との連携を支える交通ネットワークの形成を促進します。



二本木駅前

3 道路ネットワークの確保

広域 ●市内外との広域的な移動と交流・連携を支える広域ネットワークの形成のため、上信越自動車道の4車線化の早期実現を働きかけます。

拠点間 ●国道・県道については、適正な維持管理や安全に通行できる道路の整備を促進します。また、冬期間の安全な通行の確保や危険箇所の改善に向けた道路整備を促進します。

地域内 ●地域内の生活道路では、安全な通行を確保するため、適正な維持管理や必要な整備を進めます。また、冬期間の安全な通行の確保に取り組みます。



北国街道

4 公共交通ネットワークの確保

地域全体 ●これまでの鉄道や乗合タクシーなどの地域公共交通を基本としながら、人口減少や少子高齢化など社会経済情勢の変化や地域の実情を踏まえ、乗合タクシーの利便性向上や運行の見直しなどにより、地域公共交通を維持・確保します。

鉄道 ●利用者のニーズ（移動需要）を踏まえた運行本数やダイヤ設定などを働きかけます。

5 安全・安心な暮らしを支える基盤の形成

浸水対策 ●県により管理される一級河川の片貝川、渋江川などの河川は、適正な維持管理を促進します。また、地域内の普通河川などについても適正な維持管理を推進します。

土砂災害対策 ●土砂災害が生じる恐れのある区域では、行政と地域住民が連携した土砂災害防止や被害軽減に向けた取組を検討します。

地域防災力 ●木造建物の耐震化、克雪住宅の普及による耐久性や住宅環境の向上などを促進するとともに、行政と地域住民が連携しながら、避難場所となる身近な公園・広場や、避難路となる生活道路の確保に努めます。また、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成及び活動を支援します。

空き家対策 ●放置された空き家は倒壊や火災などの危険性があることから、適正な管理や有効活用に向けた空き家対策を検討します。

4 頸城(東部)・吉川・三和地域

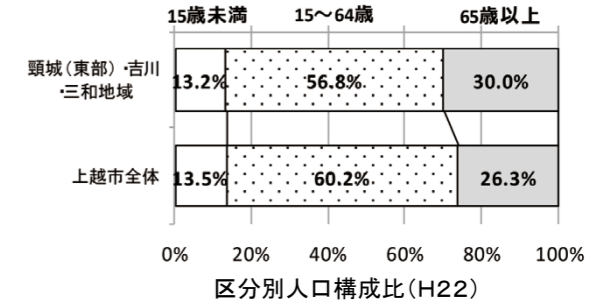
1) 地域の概要

《位置》

●頸城(東部)・吉川・三和地域は、上越市の北東部に位置し、主に田園地域である頸城区(東部)・三和区、田園地域と中山間地域である吉川区の地域です。

《都市計画上の位置づけ》

●本地域は全域が都市計画区域外になっています。



出典：国勢調査に基づき集計

1 地域資源

- 田園地域には、一面に広がる農地、屋敷林に囲まれた集落、新潟県景勝百選である大池いこいの森、自然環境保全地域に指定されている谷内池、道の駅よしかわ杜氏の郷、酒をテーマとした坂口記念館、軽便鉄道・蒸気機関車が保存されているくびき野レールパーク、温泉温浴施設(吉川スカイピア遊ランド、吉川ゆつたりの郷、三和ネイチャーリングホテル米本陣)などの観光・文化資源があります。
- また、多目的ホールや機能回復室、トレーニングルーム、生活工房、会議室、研修室や屋外施設などの研修交流施設を備えるユートピアくびきがあります。
- 中山間地域には、豊かな森林、農地、尾神岳などの自然資源のほか、尾神岳にはハイキングやスカイスポーツなどの自然をいかしたレジャー体験を提供する観光資源などがあります。



大規模な優良農地



レジャーや自然環境のある尾神岳

2) 地域の現状と課題

- 行政、商業、医療などの生活サービスが受けられる安心して暮らせるまちを維持・形成するための拠点の形成や、地域の特性に配慮した適正な土地利用を図ることにより、暮らし続けられる生活環境の維持に取り組む必要があります。
- 将来にわたって暮らし続けられるよう、各拠点との連携を支える交通ネットワークが必要です。
- 上越魚沼地域振興快速道路の整備促進や、自然資源、観光・文化資源にみがかきをかけて、市内外との交流・連携の充実に取り組む必要があります。

3) 本地域が担う役割

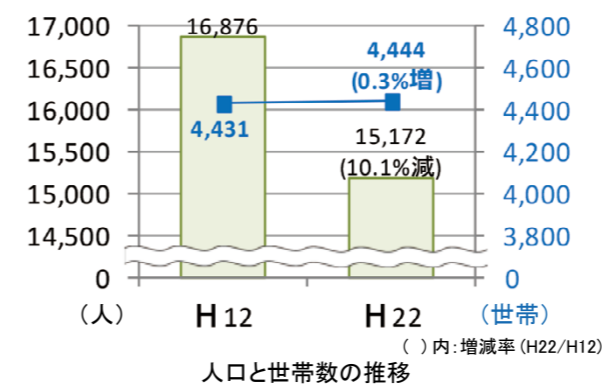
『豊かな田園・自然と共生する集落の暮らしが続けられる地域』や、『自然、農業、観光・文化資源などをいかした交流・連携を図る地域』としての役割を担います。

4) 地域づくりの方針

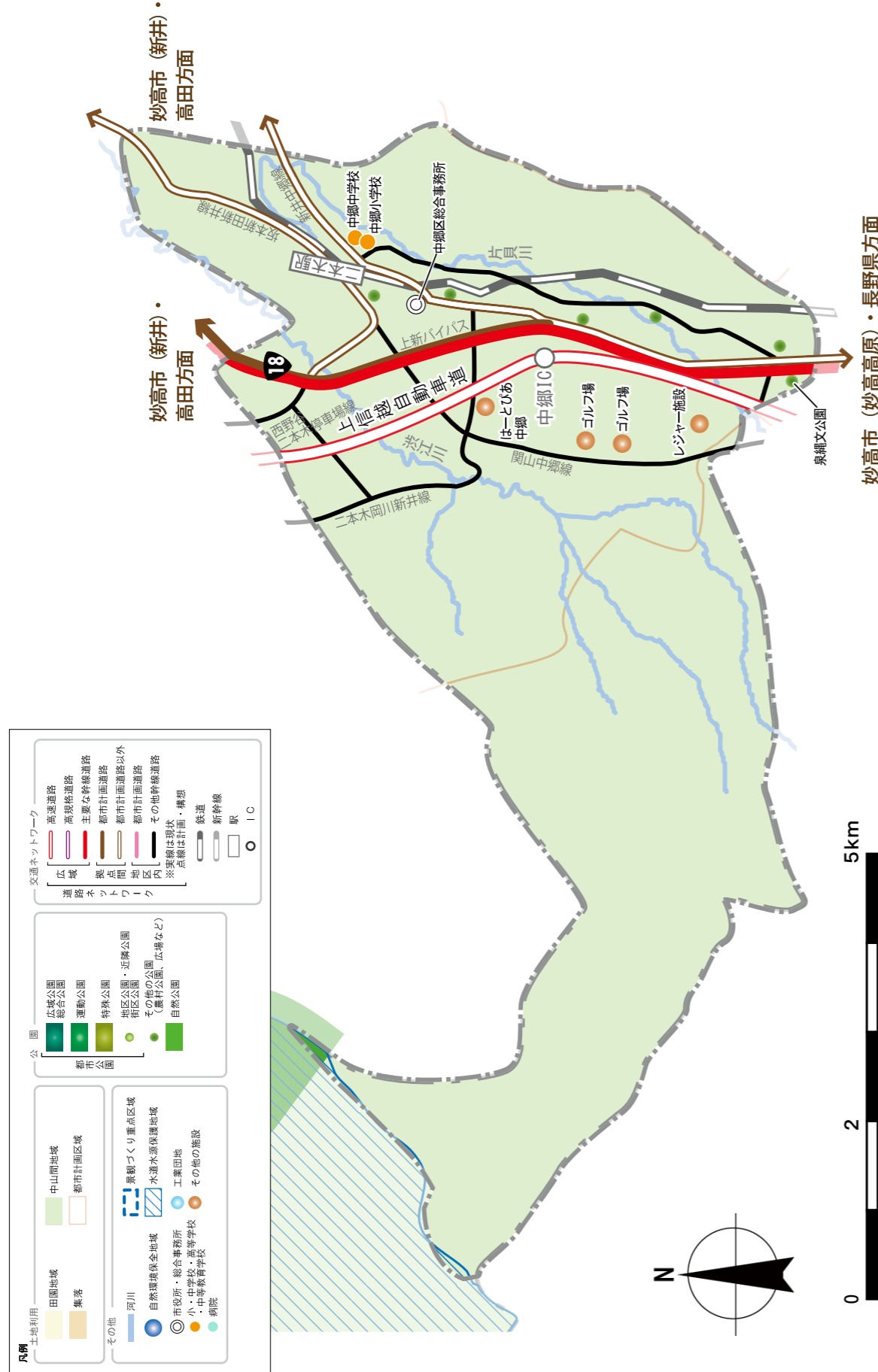
- 頸城区、吉川区、三和区の中心的エリアにおける行政機能や商業、医療などの日常生活に欠かせない機能を維持するとともに、生活環境や農業環境、自然環境などの維持・確保を進め、将来にわたって暮らし続けられる地域づくりを目指します。
- 将来にわたって暮らし続けられるよう、各拠点との連携を支える交通ネットワークの形成を促進します。また、上越魚沼地域振興快速道路の整備促進に取り組むとともに、幹線道路や生活道路の適正な維持管理及び整備などに取り組みます。
- 自然資源や観光・文化資源などの活用により、市内外との交流・連携を支援します。

2 人口・世帯数

- 平成12年と比較し、平成22年時点では人口が減少傾向、世帯数が増加傾向にあります。
- 平成22年時点では、高齢化率は市の平均よりも高い状況になっています。



地域づくりの方針図(中郷地域)



1 めりはりのある土地利用の推進

暮らしの維持

- 居住地、農地、工業地、森林などの現在の配置を踏まえつつ、暮らしやすい住環境を維持するため、関係分野と連携しながら、適正な土地利用を検討します。
- 集落機能の維持を図るため、様々な施策と連携しながら、一定規模以上の開発の規制誘導や生活基盤の維持に取り組みます。

農地自然

- 田園地域では、農業の担い手となる地域住民の暮らしの維持・確保のため、関係分野と連携しながら、優良な農地の維持・保全に向けた適正な土地利用や、農村特有の美しく緑豊かな田園景観の維持・保全や自然資源の保全に向けた土地利用を検討します。
- 中山間地域では、農林分野の施策に基づき、農業生産活動が持続的に行われるよう、農地の保全を図るとともに、美しい自然環境が後世に引き継がれるよう、豊かな森林環境の保全を図ります。

交流連携

- 地域住民が身近に自然と親しむことができる尾神岳、大池いこの森、谷内池自然環境保全地域などの様々な自然資源の活用や、道の駅よしかわ杜氏の郷、坂口記念館、くびき野レールパーク、温泉浴施設などの観光・文化資源、ユートピアくびきなどの研修交流施設の活用により、市内外との交流・連携を支援します。



大池

防災

- 安全・安心な暮らしを確保するため、行政と地域住民が連携しながら、土砂災害、洪水、なだれなどに対する防災面を考慮して、森林の保全や土地利用の規制・誘導を検討します。

2 拠点の形成

頸城区、吉川区、三和区の中心的エリア

※中心的エリア：総合事務所周辺

- 頸城区、吉川区、三和区の中心的エリアにおいては、日常生活を支える拠点の形成や日常生活に欠かせない機能の維持・集積を図るとともに、地区内の集落や地区外からの交通アクセスを確保し、交流や連携が図られる拠点を目指します。
- 将来にわたって暮らし続けられるよう、各拠点との連携を支える交通ネットワークの形成を促進します。



吉川区の中心的エリア

3 道路ネットワークの確保

広域

- 各拠点との連携を強化するため、また広域的な交流と救急医療体制の充実を図るため、上越魚沼地域振興快速道路及びその周辺道路の整備を促進します。

拠点間

- 国道・県道については、適正な維持管理や安全に通行できる道路の整備を促進します。また、冬期間の安全な通行の確保や危険箇所の改善に向けた道路整備を促進します。

地域内

- 地域内の生活道路では、安全な通行を確保するため、適正な維持管理や必要な整備を進めます。また、冬期間の安全な通行の確保に取り組みます。

4 公共交通ネットワークの確保

地域全体

- これまでの鉄道や路線バス、スクール混乗バスなどの地域公共交通を基本としながら、人口減少や少子高齢化など社会経済情勢の変化や地域の実情を踏まえ、重複区間などでの路線の再編成や交通不便地域の解消、利用状況に応じた運行内容の見直し、需要に見合った新たな地域公共交通の導入などにより、地域公共交通を維持・確保します。

鉄道

- 利用者のニーズ（移動需要）を踏まえた運行本数やダイヤ設定、及び越後湯沢駅における上越新幹線との乗り換えがスムーズに行えるダイヤ設定などを働きかけます。
- ほくほく線から信越本線、上越妙高駅への直通運転及び黒井駅停車の維持・増便を働きかけます。

5 安全・安心な暮らしを支える基盤の形成

浸水対策

- 県により管理される一級河川の保倉川、桑曽根川、二級河川の吉川などの河川は、適正な維持管理を促進します。また、地域内の普通河川などについても適正な維持管理を推進します。

土砂災害対策

- 土砂災害が生じる恐れのある区域では、行政と地域住民が連携した土砂災害防止や被害軽減に向けた取組を検討します。

地域防災力

- 木造建物の耐震化、克雷住宅の普及による耐久性や住宅環境の向上などを促進するとともに、行政と地域住民が連携しながら、避難場所となる身近な公園・広場や、避難路となる生活道路の確保などを検討します。また、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成及び活動を支援します。

空き家対策

- 放置された空き家は倒壊や火災などの危険性があることから、適正な管理や有効活用に向けた空き家対策を検討します。

地域づくりの方針図(頸城(東部)・吉川・三和地域)

